

用せせらぎ

第5号

R2. 7. 31

校訓 心ゆたかに 健やかに

校長 長谷川 晃三郎

例年通りだと先週の7月22日に1学期の終業式となるはずだったのですが、今年はコロナの関係で8月7日が終業式となります。2学期の始業式は8月25日です。例年40日以上ある夏休みが今年は半分以下の17日に短縮となりました。

1学期は育友会総会や家庭訪問、修学旅行など大きな行事はできませんでした。家庭訪問や授業参観ができなかった分、来週個人面談会を計画しています。ご多用の中にご負担をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

2学期にはいろんな行事を計画しています。授業参観についても例年通り行う予定です。「ゆめひろば」についても育友会役員の皆様と内容を十分検討しながら、今のところ実施の方向で考えています（正式決定は9月中旬）。

思ったより早くコロナが拡大し、計画通り実施できるかどうか心配でなりません。9月の運動会は昼食（弁当）無しで、午前中の開催を予定しています。レク走や団体競技等をなくして時間短縮を図ります。徒競走もレーンの間隔を広げるなど感染拡大予防の方策を検討しているところです。

来週から夏休みに入ります。短い休みですが、事故や病気等がないようどうぞよろしくお願いいたします。

第1回 代表委員会

7月17日に今年度1回目の代表委員会がありました。今年は集会等が実施できず、今回の「運動会を盛り上げよう」の話し合いが1回目となりました。

「運営・集会委員」が議長団となり、上手に会を運営しました。進行や記録が大変適切で感心しました。

3年生以上の学級代表2名が参加し、事前に学級で話し合ってきた意見を分かりやすく述べていました。考えてきたスローガンを出し合い、意見を出しながら一つに絞り込み、スローガンを決定しました。

★決定したスローガン

心を燃やせ 全力！ 努力！ 協力！

他にも運動会を盛り上げるために必要なことや役割分担について話し合いました。きっと全校で力を合わせ立派な運動会にしてくれるものと思います。



立 腰 教 育

本校では数年前から立腰教育に取り組んでいます。物事に集中して取り組むことができるよう、学習や掃除の前など、「立腰」という言葉で腰骨を立て黙想をします。他校でもよく見られるようになった光景ですが、「立腰教育」はただ物事に集中するためだけのものではありません。7月の全校朝会（オンライン）で子どもたちに次のような話をしました。

今日は「立腰」について話をします。

皆さん、今立腰の姿勢ができていますでしょうか。話の聞き方がとっても上手な伊万里小学校の皆さんです。今もしっかりと立腰の姿勢ができていますと思います。

立腰の姿勢を表す言葉に「ちょこ ペタ ピン」という言葉があります。「ちょこ」はおしりをちょこっとつけるという意味です。一番後ろまでおしりをもっていくのではなく半分から少し先あたりにちょこっと座ります。できていますか。一番後ろまで深く座っている人は少しおしりを前の方にずらしてください。次に「ペタ」です。足をぶらぶらさせたり、机の支に足をかけたりするのではなく、床に足の裏をピタッとつけるという意味です。最後に「ピン」です。腰骨をお腹の方に入れて背筋をピンと伸ばすという意味です。

「立腰」を広げたのは、哲学者の森信三先生という方です。「腰骨を立てる」ということ以外に3つのことを頑張れば、心や頭がどんどんよくなり、立派な人間になるという教えが「立腰教育」です。

3つの事というのは「返事・挨拶・履き物揃え」です。返事と挨拶については伊万里小学校7つの目標の中に入れてあります。

返事について最近感心することがあったのでその中の3つを紹介します。

一つ目は6月26日、5年生の「田植え体験」の時です。はじめに前庭で5年生全員集合をしました。みんな揃ったタイミングで佐藤先生が前に出て行かれ、「話をします。」と一言言われました。すると全員揃っての「はい」という返事が響き、一瞬にしてしーんと静まりかえりました。その後の話もちろん集中して真剣に聞いていました。すごいなあと感心をしました。

二つ目はこれも6月26日、避難訓練の時のことです。教室に戻る学年を伊東先生が言っておられた時です。「6年生」などと学年を呼ばただけで「はい」とその学年全員で返事をして静かにさっと立っている学年がたくさんありました。見ていてとても気持ちがよかったです。

三つ目は6月29日、1年2組の教室に行ったときです。国語の勉強で友達が前に出て発表をしている場面でした。前に出た友達が「発表します。」と言うと、他の友達が「はい」と返事をして体ごと発表する友達を見て、話をしっかり聞いていました。1年生でこんなに上手に返事ができるんだととっても嬉しくなりました。

みんなが目標に向かってしっかりと頑張り、7つの目標の一つ「返事が響く」学校になってきているなあ、さすが伊小の子どもたちだなあと感心をしています。

挨拶についても最近学校や登校中に離れていても自分から先に挨拶ができる気持ちのよい人が増えてきました。これからは先生たち以外の交通指導員さんや友達のお父さん、お母さん、地域の人達などいろんな人達に自分から進んで挨拶ができるよう頑張ってください。

「立腰」も「7つの目標」も基本は『周りの人たちを大切にする』事です。感謝の気持ちを忘れず、友達やお父さん、お母さん、地域の方々など周りにおられる方々を大切にできる立派な人になる事が目標です。

あなたたちなら間違いなくできます。これからも7つの目標に向かって頑張ってください。